



こんにちは
横浜市議員

日本共産党
週刊ニュース

2016年7月20日号
日本共産党神奈川県事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：491-6843、FAX：491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp/>

宇佐美 さやか

市営プールの見直し方針

神奈川区入江町公園プールが廃止に

横浜市は昨年10月、「プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針」を策定し、利用状況やコスト、配置などを考慮して、プールの統廃合を検討することにしました。

対象には、旧余熱プール(以前はごみ焼却場の余熱を使っていたプール、3か所)や公園プール(28か所)だけでなく、学校プール(503か所)も含まれます。

旧余熱プールのうち、栄プールは施設の大規模改修の際に廃止して、港南プールへ統合。本牧市民プールと横浜プールセンターは、老朽化が著しいことから再整備を検討。公園プールは、大規模な改修や近接する小学校の建替え等の際に、学校プールへの集約を検討。つまり、公園プールを廃止して学校プールを市民プールとして兼用するという事です。

プールが集中している地域にある潮田公園プールと平安公園プール(鶴見区)、芦名橋公園プールと磯子腰越公園プール(磯子区)は集約の対象です。

うまく行かなかった中学校プールの共同使用

学校プールについては、学校の建て替えや大規模改修の際に、隣接する小中学校や市営プールを共同利用する可能性を検討し、授業等に支障がない場合には推進。小学校に近接する屋外公園プールがある場合は、小学校の建て替え等の際に、公園プールをなくして、学校プールへの集約を検討するとしています。

しかし、中学校のプールを近隣の数校で一緒に使う拠点校方式については、あかね台中学校(青葉区)でモデル事業として実施した結果、想定以上に移動時間や付添人員が必要で、水泳授業水準の維持が難しかったこと、他の授業カリキュラムへの影響や学校職員への負担が大きかったことなどから、取りやめとしました。



入江町公園プール
25mプール(上)と子ども用プール(右)
(同プールHPより)



市民がプール存続を求める署名

児童数増加により子安小学校が移転新築しますが(神奈川区、2018年移転予定)、近くにある入江町公園プールを廃止して、小学校のプールを市民プールとして利用することになりました。

入江町公園プールには25mプールと子ども用プールがあり、1時間60円あるいは100円の安価な料金で利用でき、古くから住民に親しまれてきました。利用者はピーク時(1995年度)の年間29,920人から減ったとはいえ、2014年度には10,465人が利用しています。

神奈川区では、市民が「子安小学校の移転と入江町公園プールの“集約”を考える会」を結成。市に対する要望書では、同プールが「緑豊かな公園の一角にあることも魅力」であり、「昨今の駅近くのマンション建設で人口増の傾向にあり、市民プールの市民利用は益々増加が予想されます」として、プールをなくさないでほしいと、署名を始めています。

学校の授業がある時は市民は使えない、プールの管理にどこが責任を持つのか、今でさえ忙しい学校職員の負担が増えないのかなど、問題が山積みです。